

# Supporter News

埼玉県マスコット  
さいたまっち コバトン

## これからの消費者被害防止活動によせて

### 埼玉県県民生活部消費生活課 田中 康博 課長



サポーターの皆様には、様々な消費者被害の防止活動に御協力いただき、深く感謝申し上げます。周囲への声掛けから自治体と連携した取組まで、幅広く消費者被害の実態や事例を伝えていただく活動は、県民の方々の消費者被害を未然に防ぐことに大きく貢献しています。

皆様には地元市町村や住民同士の連携・繋がりを一層深めていただき、消費者被害を未然に防ぐ地域での活動に引き続き積極的に御協力賜りますようお願い申し上げます。

### 埼玉消費者被害をなくす会 池本 誠司 理事長



2024年度フォローアップ研修で事例としてありました「SMSによるフィッシング詐欺に注意」についての体験談です。私のパソコンにも、先日、使ったことのないカード会社名でメールが入りました。「これはフィッシング詐欺だな」とすぐに気づいて、とりあえずメールを開いて確認し、URLには一切アクセスしないで削除しました。ところが、実在メールだという情報を相手に伝えた形となり、別名義のメールが次々と届き始めました。心当たりのないSMSやメールは開かないことをまず呼び掛けましょう。

### 令和6年度

## 消費者被害防止サポーター全体交流会を開催しました

令和7年2月18日 会場(埼玉会館)とオンラインのハイブリッドで開催しました。サポーター62人(会場37人 オンライン25人) 行政職員、社会福祉協議会からも10人の参加がありました。ご協力いただいたすべての皆様へ感謝を申し上げます。



## 講演 『「インターネットを正しく怖がる方法」～インターネットの利便性と注意点を知ろう～』

国際大学 GLOCOM 客員研究員 小木曾健 氏

「メモをとらなくてもいい講演」であることを最初に話され、映像とテンポ良いお話の1時間の講演に参加者は引き込まれていました。SNSの友達限定を利用しても個人情報流出することや炎上した人のその後の事例などインターネットの怖さを伝える一方、どうすれば失敗しないのかをわかりやすく説明していただき、道具であるインターネットを上手に活用してほしいと提案されました。

### インターネットで失敗しないポイント

\*インターネットを自宅の玄関のドアに例えて、ドアに貼れないものはインターネットに書き込まない。

\*インターネットの情報は日常とつながっていることを意識すること。



### 参加者からの感想より

- ・例える事例が具体的で、ニュース等で見聞きする内容の怖さについて納得ができました。
- ・普通に日常生活でやってよいことはネットでもOKと怖がらずに、うまくネットと付き合っていければよいこと、六次の隔たり(世界中の人間は、「知り合いの知り合い」という関係をたどっていくと5人の仲介者を経て6人目につながるという考え)というのは初めて知り、おもしろかったです。
- ・ネットに情報を載せた途端に個人の特定は難しくないということが本当によくわかりました。自分の危機感のなさは甘かったです。聞いてよかったです。
- ・3.11震災で母の助けを求めるメールからSNSを介して446人が救出された話が印象に残りました。
- ・一つの言葉があっという間に拡散されてしまう恐ろしさを知り、これからの生活に役立てます。

## 講演 『これまでのサポーターの活動と今後に向けて』

埼玉消費者被害をなくす会 理事長 池本誠司

高齢者見守りネットワークの見守り活動と地域で活動するサポーターが連携することにより、官民連携で効果的な消費者被害防止を行うことの重要性や、サポーターが主体的に行動するグループ・団体となり行政は団体を支援していく必要があると話がありました。今後のサポーターの活動にエールを送りました。



### 参加者からの感想より

- ・地域ごとのサポーターの拠点になる交流の場所があれば良いと思います。
- ・行政との連携がもう少し密にできたらと思います。
- ・歴史とサポーターの意義を感じる事が出来ました。埼玉の活動に誇りを持っていいと感じました。
- ・フォローアップ研修、交流会を通じてサポーターが共有する。繋がる事がポイントですね。
- ・あらためて消費者被害を防ぐために消費生活センターを周知する、繋ぐことが大事です。

## グループ交流（会場 6 オンライン 4）

テーマ 『サポーターとして取り組んできたこと』

『サポーターとしてこれから取り組んでみたいこと』

消費者行政担当職員も参加し、日頃の活動から思うことについて活発に交流しました。交流後、会場・オンライン・サテライト会場からそれぞれの報告を聞きこれからの活動に繋げる時間となりました。



オンライングループ、  
サテライト会場からの報告



報告

### ○会場

- ・地域ごとに活動に違いがあり、それぞれ悩んでいることがあることを話せました。これからも活動について考えていきたいと思えます。
- ・きっかけのひとつとして朝霞市消費生活講座へ参加してほしい。（サポーターから案内がありました）
- ・サポーターとしてだけでなく様々な活動をしているので各自の活動時に消費者被害防止の啓発を取り込んでいければと思う。活動場所として地域・市・県があり、それぞれ連携を考えていきたい。

### ○オンライン

- ・加須市では市のイベントチラシや啓発品を配布しながら啓発しています。消費者被害防止サポーターのタスキがありサポーターとわかってもらえるし自身も皆さんに伝えようという気持ちになります。

### ○サテライト会場

- ・飯能市地域包括支援センターより、地域の見守り時に不審な車を発見した事例などが挙がり、そのような情報の収集や地域での共有を行っていききたいと思えます。

### 『歌って♪啓発しよう』詐欺に気を付けて！注意喚起ソング

音楽家 平嶋淳摩 氏 サポーター 稲生さん

歌で、楽しく消費者被害の啓発ができたらと詐欺被害の歌を作られました。  
全員で「歌詞カード」を見ながら歌い、和やかな時間になりました。



感想より ♪分かりやすい言葉とメロディーで注意喚起するのは素晴らしい。

♪支援の場で、音楽が脳の活性化に大きな影響を与えることを話しています。

♪楽しく学ぶことはいいなと感じました。♪美しい歌声に感動しました。

♪よくある消費者トラブルがキャッチーな歌詞になっていて、講座など様々な場で活用できる注意喚起ソングだと思いました。

平嶋さんホームページにて『詐欺に気を付けて！注意喚起ソング』の YouTube 動画配信中⇒  
平嶋さんのご厚意で啓発活動に活用いただけます。別紙同封の「歌詞カード」も参照ください。



# 令和6年度 消費者被害防止 啓発活動

※サポーターの皆さんが自治体とともに取り組んだ啓発活動やなくす会が実施しました講座等の様子です。



上尾市  
サポーターの会総会



川越市 消費者月間  
サポーター啓発活動



春日部市金融経済講演会



鴻巣市  
第1回消費生活セミナー



東松山市 188の会総会



伊奈町  
消費生活講座



白岡市 藤まつり



加須市 交流会



川口市 消費生活セミナー



上尾市 消費生活展



草加市 啓発活動



幸手市 消費生活展

サポーターのみなさん、自治体のみなさん、活動の様子をお送りいただきありがとうございました。



春日部市  
ぽぽらフェスティバル



鴻巣市  
第2回消費生活セミナー



宮代町  
サポーター懇談会



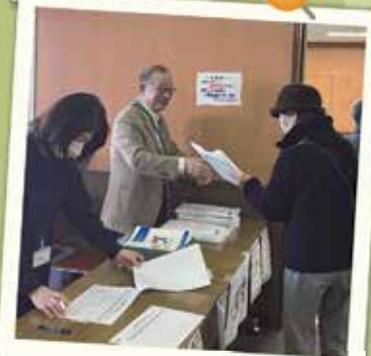
東松山市  
188の会研修会



松伏町 消費生活講座



春日部市  
市民活動見本市



戸田市 消費生活講演会



伊奈町  
サポーター交流会



朝霞市 消費者教室



消費者被害防止サポーター  
基礎講座



地域見守り担当者講座



サポーター研修・地域別  
交流会

## 地域の集まり、サロン等で活用できる寸劇シナリオがあります。

役名札や小道具を工夫して楽しく啓発してみよう！ QRコードからもご覧になれます。  
ご活用についてなどご相談は、なくす会までご連絡ください。

### 『点検商法(屋根工事)』

「近所で工事をしていたら、おたくの屋根瓦がずれていた」と声を掛けてくるトラブルです。令和5年度フォローアップ研修で実践しました。

さいたま市消費生活総合センターホームページより(紙芝居)



4役 所要時間約10分強

### 『サポート詐欺』

パソコンでインターネット検索中、突然警告画面や警告音が出て偽のサポート画面に誘導し、サポート料金を支払わせるトラブルです。令和6年度フォローアップ研修で実践しました。

埼玉県高齢者を守るお助けかわらばんより



4役 所要時間約10分

検索！高齢者を守る  
お助けかわらばん



同封しています

## 「令和5年度消費者被害防止サポーター活動報告」アンケートにご協力いただきありがとうございました

令和6年10月時点、該当のサポーター1,063人に送付し270人より回答がありました。  
サポーターのみなさんからよせていただいた活動、声は市町村訪問の際に職員へ伝えていきます。

### 【令和5年度における活動報告(抜粋)】

(日高市在住 大河原さん)

日頃から見守りと、老人会の総会や親睦会で188の説明と周知をしています。

(加須市在住 田口さん姉弟)

環境フェアにて消費生活センターのコーナーで、だまされやすさチェックをし、参加者に啓発品を配布しました。

(草加市在住 垣沼さん)

1人暮らしの方の見守りで訪問をする際に「お助けかわらばん」を配布し注意して欲しいことを伝えています。

\*お助けかわらばんの活用をしている(多数)

\*同じ地域で活動している方と交流の機会が欲しい、ともに活動したいという要望も多数ありました。

### 【クーリング・オフお知らせチラシ(サポーター通信 R6.8.26 発行号)を用いた活動の紹介】

(飯能市在住 横田さん)

クーリング・オフお知らせチラシを自治会協力のもと全戸分コピーし配布、注意喚起をしました。

(秩父市在住 寺澤さん 岡田さん 笠原さん)

年金支給日にあわせて市職員と地元警察と一緒にクーリング・オフお知らせチラシをコピーし、

街頭啓発キャンペーンとして配布をしました。

他多数 ご活用ありがとうございました。



令和6年度消費者被害防止サポーターは1,140人になりました

令和7年1月31日現在

消費者被害防止サポーター基礎講座(4回)地域見守り担当者講座(3回)開催しました。

実際に被害にあった時の対応方法など、法律をもとに講師の話がわかりやすく今後の知識になりました。もしもの時の支援や声かけができると思いました。  
(地域見守り担当者講座受講者の感想より)



本庄市 地域見守り担当者講座

発行者: 適格消費者団体 / 特定適格消費者団体

特定非営利活動法人 埼玉消費者被害をなくす会 理事長 池本誠司

〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-11-5

Tel/ Fax 048-829-7444

E-mail: nakusukai.10@saitama-k.com

https://saitama-higainakusukai.or.jp/

埼玉消費者被害をなくす会は埼玉県から「高齢者等見守り促進事業」の委託を受けています。